

HLA タイピング結果のアリル表記法と結果報告の原則
(2010 年度版 改訂 1.1 版) の改訂箇所について

改訂箇所 (1)

表記法の「II. アンビギュイティ (ambiguity) の結果表記について」の「2. 第 2~4 区域で判別できないアリルが複数存在する場合の表記」について、以下の改訂を行う。

[改訂前]

1) 第 2 区域で判別できないアリルが複数存在する場合、最も数字の小さいアリルを最初に記し、その後に「/ (スラッシュ)」を入れ、判別できない他のアリルの第 2 区域の数字のみを記す。「/ (スラッシュ)」で表記するアリルは、最大 3 種類までとし、4 種類以上の場合、最後に「+ (スラッシュ, プラス)」を付記する。

[改訂案]

1) 第 2 区域で判別できないアリルが複数存在する場合、最も数字の小さいアリルを最初に記し、その後に「/ (スラッシュ)」を入れ、判別できない他のアリルの第 2 区域の数字を小さい順に記す。「/ (スラッシュ)」で表記するアリルは、最大 3 種類までとし、4 種類以上の場合、最後に「+ (スラッシュ, プラス)」を付記する。

改訂箇所 (2)

表記法の「IV. 血清学的 HLA 型の結果表記について」、複数の HLA 型表記について、以下の内容を追加する。

[改訂前]

該当なし

[改訂案]

2. DNA タイピング結果から複数の HLA 型の可能性がある場合、最も数字の小さい HLA 型から順番に記し、各 HLA 型は「/ (スラッシュ)」区切る。

例：HLA-DRB1*04:03/05/06/+と判定された場合は、「HLA-DR4」と表記し、HLA-A*02:06/10/21/+と判定された場合は、「HLA-A2/210」と表記する。

改訂内容 (3)

表記法の「IV. 血清学的 HLA 型の結果表記について」、HLA-C 座の HLA 型表記について、以下の内容を追加する。

[改訂前]

2. WHO 命名委員会と日本組織適合性学会 HLA 標準化委員会の何れでも HLA 型が不明な場合は、第 1 区域で分類される HLA 型で表記する。その場合、備考欄に「この

アレルに対応する HLA 型が判明していないため、アレル名で表記している」等の説明を付記してもよい。

[改訂後]

3. WHO 命名委員会と日本組織適合性学会 HLA 標準化委員会の何れでも HLA 型が不明な場合は、第 1 区域で分類される HLA 型で表記する。また、HLA-C 座のアレル HLA-C*12 から C*18 に対応する HLA 型は公認されていないが、第 1 区域を用いて HLA 型とする。これらの場合、備考欄に「このアレルに対応する HLA 型が判明していないため、アレル名で表記している」等の説明を付記してもよい。